

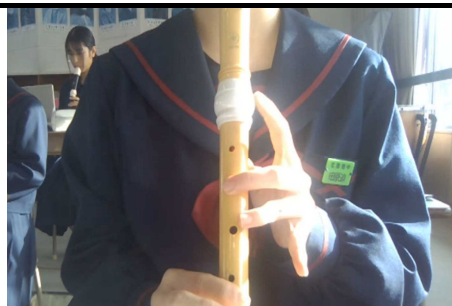
学習者主体の授業づくりに向けた「振り返り」の事例

学校名	指宿市立北指宿中学校	児童生徒数	303人
-----	------------	-------	------

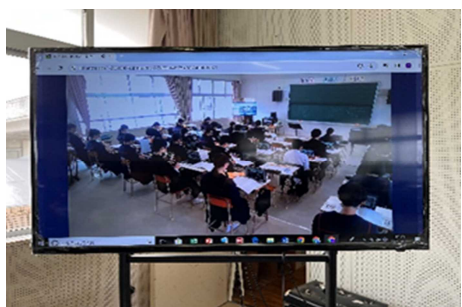
振り返りをしている子供の様子や、振り返りの視点、振り返りの記述等



活動① 自分の演奏を録画して提出



自分の演奏を聴き、振り返る



活動② 全員合奏をモニターで共有



振り返りカードで共有

リコーダー 合奏
「エーデルワイス」

① 自分の演奏を振り返って

初めのレが少し汚かった。気持ち的には滑らかにできたつもりだったが、実際に指使いを見てみると移動があまりきれいではなかった。タンギングは上手く出来たと思う。ただ、最後の方の息が続かない事があった。もう少し音色をきれいにしたいと思った。

② 合奏を振り返って

少しこもった感じの音色になったかもしれない。合奏でもうまく指が移動できていなかったり、息が続いていないところが多々あった。また全体で合奏をすることがあったら今度は、・しっかりとプレスをする ・指移動が滑らかになる ・タンギングをしっかりする などといったことに気を付けて演奏したいと思う。



取組についての概要（成果）

12月 第2学年 音楽科「曲想を感じ取って器楽表現を工夫しよう」における実践

本時の活動1, 活動2の振り返りをロイロノートを活用して以下の流れで行った。

- 活動1
- ① ロイロノートで自分の演奏を録画して提出する。
 - ② ロイロノートで振り返りカードを送り、録画した自分の演奏を聴いて振り返る。
- 活動2
- ① 合奏を録画し、モニターで演奏を共有する。
 - ② ロイロノートで振り返りカードを送り、「自分の演奏を振り返って」「合奏を振り返って」の振り返りを各自提出。全員でタブレット端末上で共有する。

〔成果〕

録画機能を使って、自分や他者の演奏を聴くことで、自身のリコーダーの奏法や器楽表現の創意工夫を確認や更なる工夫を追究することができた。振り返りカードは共有することで次への課題を客観的に判断することができたり、リコーダー合奏に取り組むことに関心をもち、楽しみながら取り組み、意欲の向上にもつなげることができた。